

伝統の福井野菜

和泉地区の特産物

# 穴馬かぶら レシピ集



このレシピ集は水に強い紙を使っています。台所でも安心してご使用できます。

## 穴馬かぶらおにぎり

調理時間 約20分

●材料 (2人分)  
穴馬かぶら …… 1個  
ごはん …… 2合分  
しょうゆ …… 10cc  
かつお節粉 …… 5g  
一味唐辛子 …… 少々  
塩 …… 少々  
浅漬けの素 …… 適量



おにぎりが水っぽくなるので、すべてに水気を切るようにします。

### ●作り方

- ①かぶらを横に0.5~1mm位スライスし、浅漬けの素で漬ける。葉は丁寧に取り、茎ご葉に分ける。
- ②茎は長めに、葉はが変わ程度茹でて、水に落として色止めをする。  
大きい葉8枚は、ペーパー等で水気を取る。  
茎は長いものを縦型に4等分に切り、残りの茎と葉は、細かく切って水気をとる。
- ③細かく切った茎と葉にしょうゆ、かつお節粉、ごはんを混ぜる。味をみて、塩をいて、さらに混ぜ、50gの俵型のおにぎりを作る。
- ④②の水気を切った葉をおにぎりに巻き、①の浅漬けしたかぶらを3枚巻いて、茎を巻いて出来上がり。

## 穴馬かぶらのおやき

調理時間 約50分

●材料 (8個分)  
穴馬かぶら …… 1個  
ごま油 …… 大1  
酒 …… 大1  
みりん …… 大1  
砂糖 …… 大1  
唐辛子 …… お好みで  
強力粉 …… 100g  
薄力粉 …… 100g  
片栗粉 …… 大1  
塩 …… 少々  
熱湯 …… 150ml  
ごま油 …… 小2



かぶらは葉も茎も全て使う。おやつにも穴馬かぶらを使いました。

### ●作り方

- ①かぶらは1cm角に切り、茎や葉も全て切る。
- ②刻んだかぶらをごま油で炒め、あんの調味料で味付けする。
- ③別皿に移し冷ます。
- ④粉類をふりいにかける。
- ⑤粉に塩を混ぜる。熱湯とごま油も混ぜ込み、生地をつくる。
- ⑥生地を休ませる。
- ⑦打ち粉をひく。生地は8等分し、1つずつ丸く伸ばす。
- ⑧生地にあんを包み、ごま油で焦げ目が付くまで両面を焼く。

## 穴馬丼

調理時間 約20分

●材料 (2人分)  
穴馬かぶら …… 2個  
まいだけ …… 100g  
豚肉 …… 100g  
穴馬かぶら葉 …… 少々  
しょうゆ …… 大3  
みりん …… 大4  
砂糖 …… 小2  
卵 …… 小4個  
ご飯 …… 2膳分  
穴馬かぶらの漬物 …… 少々



和泉の具材が盛りだくさんです。豚肉のかわりに豚肉でもできます。味は少々甘めですが、各自調整してください。

### ●作り方

- ①豚肉は薄切りにし、ゆでごぼして昆布を取る。
- ②かぶらは、拍子切りにする。まいだけは小さめにさき、湯がいておく。かぶらの葉は、ゆがめて刻んでおく。
- ③だし汁に豚肉、かぶら、まいだけを入れて火にかけ、味をつける。
- ④だし汁に卵を溶いて入れ、半熟にする。その時、刻んだかぶらの葉を散らす。
- ⑤器にご飯を盛り④の具をのせて、かぶらの漬物を中央に盛り付ける。

## 穴馬かぶら菜葉飯のデミグラスソース

調理時間 約45分

●材料 (8人分)  
穴馬かぶら …… 中2個  
牛肉バラ薄切 …… 200g  
里芋 …… 小10~15個  
玉ねぎ …… 中2個  
穴馬かぶら葉 …… 1~2株  
まいだけ …… 150g  
ミニトマト …… 8個  
三つ葉 …… 適量  
いわごマ …… 適量  
即席ハヤシルー …… 箱  
スライスチーズ …… 8枚  
ごま油 …… 大3  
みそ …… 大3  
サラダ油 …… 大3  
熱湯 …… 900ml  
ご飯 …… 900g前後



成長期のお子さんから高齢の方まで親しみやすい味として、かぶらのエグ味を抑えています。牛肉が苦手な方は、肉を置いてまいだけを倍量にしてもらいくらいいただけます。

### ●作り方

- ①厚手の鍋にサラダ油をひき、薄切りにした玉ねぎをキツネ色になるまで炒める。次に食べやすい大きさに切ったまいだけを入れて炒める。
- ②牛丼に火が通ったら細かくほぐしたまいだけを炒め、皮をむいた里芋と熱湯を入れて火にかけ、火が通るまでじっくりと煮込む。アヒは取り除く。
- ③中火で25分煮込み、ミニトマトを鍋に入れる。トマトは好みの大きさに切っておく。
- ④いったん火を止め、即席ルーを割り入れる。とろみがつくまで弱火で煮込む。
- ⑤熟したフライパンにごま油をひき、みじん切りにしたかぶら葉と一緒に大(イチカラ)切りに切ったかぶら、次にご飯を入れてほぐしながら炒める。
- ⑥みそで調味し、ソースをかける。熱いうちにスライスチーズをのせ、好みでトマトと三つ葉を散らせて出来上がり。
- ⑦またいだけは、なるべく傘(黒い部分)が多いものを選ぶ。かぶらには特有のエグ味があるので、ごま油の風味で抑えるのが重要

## ちょつとごちそう豚バラ巻き

調理時間 約20分

●材料 (2人分)  
穴馬かぶら …… 4個  
豚バラ肉 …… 250g  
みりん …… 100cc  
しょうゆ …… 大1~1.5  
塩 …… 少々  
こしょう …… 少々  
レタス …… 4枚  
サラダ油 …… 大1



ごはんがすすむおかになります。野菜嫌いな人や、かぶらの独特的匂いが好きな人にも喜んで頂けます。

### ●作り方

- ①かぶらを横に0.5~1mm位スライスし、浅漬けの素で漬ける。葉は丁寧に取り、茎ご葉に分ける。
- ②塩、こしょうをしてサラダ油で焼く。焼いている余分な油が出てくるので、キッチンペーパーで拭き取る。
- ③焦げやすいので一旦火を止めて、分量のみりんのアルコール分を飛ばした後、しょうゆを入れ、弱火にして汁がなくなるまで煮詰める。
- ④レタスの上に盛り付ける。

## 穴馬かぶらの焼きマリネ

調理時間 約20分

●材料 (2人分)  
穴馬かぶら …… 3個  
まいだけ …… 房  
唐辛子 …… 本  
人参 …… 本  
ブロッコリー …… 1房  
「砂糖 …… 1.3kg  
酢 …… 1.8L  
甘酢 …… 1.8L  
塩 …… 少々



孰いうちに食べても美味しいですが、冷蔵庫で冷ましたのも2~3日は美味しい食べることができます。

### ●作り方

- ①かぶらは1cmくらいの半月切りにし、小房にほぐしたまいだけと一緒にオリーブオイルで焼き目をつける。
- ②砂糖(1.3kg)酢(1.8L)塩(大さじ1)を一度沸騰させて冷ましておく。
- ③①を熱いうちに甘酢に輪切りにした唐辛子と一緒に漬けておく。彩りに人参やブロッコリーを固めに茹でて漬け込んでよい。

## 穴馬スイートコーン、穴馬かぶらのお求めは…

福井県大野市上大納

株式会社 昇竜 ☎0779-78-2255

福井県大野市朝日 ☎0779-78-2352



発行元: 和泉地区特産物活性化協議会

大野市和泉支所 住民振興課内 ☎0779-78-2111

## 穴馬かぶらのドライカレー

調理時間 約15分

●材料 (5人分)

穴馬かぶら …… 2個  
穴馬スイートコーン …… 100g  
牛挽肉 …… 150g  
にんにく …… 2片  
オリーブ油 …… 大3  
ごはん …… 約600g  
カレー粉 …… 大2  
カレールー …… 2ヶ  
まいだけ …… 100g  
バター …… 20g  
塩コショウ …… 少々



ドライカレーの定番である玉ねぎやパブリカをあえて使わずに、かぶらが甘みと食感、地元のコーンやおいしいだけにカレー味とマッチした和泉ならではのおすすめです。

### ●作り方

- ①かぶらは1cm角くらい、茎は実から20cmくらいを1cmくらいの小口切りにする。穴馬スイートコーンはゆでておく。
- ②熟したドライパンにオリーブ油を入れ、みじん切りにしたにんにくを炒める。
- ③②に牛挽肉を入れ、炒め、①のかぶらの茎と茎の切ったものを炒めます。
- ④しなんじてきてから温かいがはんと①の穴馬スイートコーンを入れて、ほぐしながら炒めます。
- ⑤ごはんはすぐれたラレー粉とカレールーを入れ、よく混ぜながら炒めて、出来上がりです。
- ⑥まいだけのかぶらの葉のバター炒めを添える。

## 穴馬かぶらの天ぷら

調理時間 約10分

●材料 (1人分)

穴馬かぶら …… 1個  
穴馬かぶら葉 …… 適量  
天麩羅粉 …… 適量  
揚げ油 …… 適量  
水 …… 少々  
塩 …… 少々



穴馬かぶらの葉はとてもやわらかく、天ぷらにするとかぶらのすべてを食べることができます。

### ●作り方

- ①かぶらはくし形に切り、かぶらの葉は内側のやわらかい部分を使う。
- ②水で薄めた揚げの天麩羅粉を衣につけて揚げる。
- ③塩をぶりかけてできあかり。

## 穴馬かぶらとリンゴのサラダ

調理時間 約10分

●材料 (4人分)

穴馬かぶら …… 2個  
リンゴ …… 1/4個  
酢 …… 400cc  
塩 …… 小1  
砂糖 …… 300g



さっぱりして口好みにいいです。

### ●作り方

- ①かぶらを5mm~7mm角のスティックに切り、かぶらは少し塩をふってしんなりさせておく。リンゴはそれより細く切る。
- ②2つを合わせ、酢と砂糖と塩を1度沸騰させ、冷ましたものに漬ける。
- \* すべてに食べてもいいですが、30分ほど置くとかぶらの皮の部分が発色してリンゴの風味がついて美味しいです。

塩は魚の下味の時だけです。あさりの出し汁で作るスープがポイントです。夜遅くに食べても良さない、やさしい味が特徴です。

### ●作り方

- ①かぶらの皮を剥き、8等分、さらに2等分したものを作り、あさりの出し汁で、串が通るくらいのやわらかさまで煮る。(ここで決して脂はない)これを茹でてどこにもミキサーにかけ、ボーリッシュやりやわらかめにして、別の鍋に入れておく。
- ②両面に軽く塩をした真鰯をオリーブオイルをひいたフライパンで、皮8分目、裏返して2分目、魚に火が通るまで焼く。かぶらの葉、茎を小口に切り、オリーブオイルを少々ふりながら、シャキッとした食感が残るよう焼く(塩はない)。
- ③お皿に盛られたかぶらのスープをしき、その上に焼きたまに真鰯の切り身を皮目にしてのせ、焼いたかぶらの葉、茎を添える。かぶらのソースにオリーブオイルを軽くふる。

塩は魚の下味の時だけです。あさりの出し汁で作るスープがポイントです。夜遅くに食べても良さない、やさしい味が特徴です。